

# 平成29年度 第2回 江別市立病院経営健全化評価委員会

日 時：平成30年2月28日(水) 18時32分～19時50分

場 所：江別市立病院 2階 大会議室

出席者

委員：2名

西澤寛俊委員長、樋口春美委員（水野委員は欠席）

市立病院：19名

次 第

1 開会

2 院長あいさつ

3 議題（1）平成29年度の診療収益の状況について

・手術件数について

・患者満足度調査について

（2）平成30年度予算案概要について

・医師数の状況について

（3）新公立病院改革プランの指標管理について

## 平成29年度第2回江別市立病院経営健全化評価委員会(平成30年2月28日)の概要

平成29年度の診療収益の状況、手術件数、患者満足度調査の結果、平成30年度予算案、新公立病院改革プランの経営指標について事務局から説明を行いました。

平成29年度の収益状況では、全国的に患者数が減少している傾向にあることから、地域の状況を把握し、需要の有無をよく確認するようご指摘いただきました。

また、計画値を達成できない厳しい状況が続いていることは、行政と一体となって考えていくよう意見をいただきました。

患者満足度調査について、調査手法を見直すことに加え、調査結果をより分かりやすくし、患者から指摘を受けた点については、どのような対応をしたのか、という対応結果を院内に張り出す必要性についてご指摘いただきました。

平成30年度予算案では、総合内科医の体制が縮小することから、救急の受入体制含め、前年度より診療体制が縮小することになり、大変厳しい年度である旨説明しました。今後の専門医制度や医師の働き方改革等にどのように対応していくかをしっかり考える必要があるとご意見をいただきました。

また、予算編成について、費用削減等の一定の努力は認めるものの、目標設定を高くせざるを得ない実態を、早めに解消するよう努めるようご指摘をいただきました。

最後に新公立病院改革プランの経営指標については、救急搬送患者数の減少傾向について、救急受入は、医師の疲弊に繋がることもあり、全てを受け入れていくことは難しい面もありますが、救急を極力断らず、きちんと受け入れていくことは、地域医療はもちろん、経営的にも重要であり、救急受入体制の対外的な周知をしていく必要があるとご指摘をいただきました。

最後に、医師の負担軽減に取り組み、医師が自身の仕事に集中できるようにすることが、収益改善に繋がるので、早急に進めるようご指摘をいただきました。